

能美市・北陸先端科学技術大学院大学の 連携協定締結15周年を記念し 特別講演会を開催

能美市誕生15周年と、能美市と北陸先端科学技術大学院大学との連携協定締結15周年を記念して、令和元年にノーベル化学賞を受賞された旭化成株式会社名誉フェロー吉野彰氏による特別講演会を開催しました。

講演会は、10月2日に根上総合文化会館の円形ホールで市内中学校2年生を対象に行われました。新型コロナウイルス感染症防止のため、根上中学校2年生は会場で聴講し、



講演会の様子



生徒に語る吉野氏

寺井中学校・辰口中学校2年生は各学校の教室にてライブ配信により聴講しました。講演では、理系の道を志すきっかけとなった「ロウソクの科学」という本との出会いの話から、旭化成に入社してリチウムイオン電池の研究に取り組み、製品化に至るまでの苦労などを語られ、「困難に直面しても、自分の信念さえあればへこたれない」と生徒にエールを送りました。

市道秋常14号線開通

市道秋常14号線の開通式を10月16日に、地元関係者など約20人が出席し開催しました。本市道は、秋常山古墳群・西山古墳群と主要地方道小松鶴来線を結ぶ市道です。県道から直接アクセスが可能となることで、市民や来訪者の安全性及び利便性の向上につながるものと期待されます。

式典後には、開通を記念して「能美ふるさとミュージアム」が運営するレンタサイクルサービスの紹介を兼ね、井出市長、観光大使の浅田雅子さん、宝栄美希さんの3名が電動アシスト自転車を使って、市道秋常14号線から能美ふるさとミュージアムまで走行しました。



テープカットの様子



左から浅田さん、井出市長、宝栄さん

稲瀬祐衣さんに観光大使を委嘱

いなせゆうい 昨年5月1日付で観光大使を委嘱した、マリンバ・打楽器奏者の稲瀬祐衣さんが9月23日、能美市役所を訪れ、井出市長から委嘱状を手渡されました。

稲瀬さんは、根上中学校吹奏楽部時代に恩師の勧めでマリンバと出会って以来、その音色に魅了され、現在都内を中心に演奏活動を展開されて

最高齢 いつまでもお元気で
東方さん、富本さん おめでとーございませう

市内最高齢となる男性・女性に祝品が贈られました。男性の最高齢は石子町の東方一雄さん（105歳）、女性の最高齢は下ノ江町の富本芳枝さん（105歳）です。

お二人は施設に入所中のため、ご家族にお祝い状と記念品、フラワーアレンジメントが贈られました。

9月20日、井出市長が東方さんのご家族のお宅を訪れ、お祝い状と記念品の贈呈を行いました。

祝百寿 **山口さん** おめでとーございませう

10月12日、山口あきのさん（大浜町）から機織りの仕事をがめでたく100歳を迎えられました。山口さんは入院中のため、ご家族にお祝い状と記念品が贈呈されました。

山口さんは若い頃から機織りの仕事をされていたそうです。着物やお花、編み物などいろいろな趣味を楽しまれていたとご家族が教えてくださいました。



東方さんの元気の秘訣は「ご飯を残さず食べ、食欲があること」とのことです。



東方さんのご家族と井出市長



山口さん



委嘱状を手渡される稲瀬さん（左）

能美市消防団に女性分団が発足！

能美市消防団の充実強化を図り、近年多発している災害に対応するため、10月1日より女性分団を発足しました。女性分団の活動は、従来の消防団活動の中でも特に防火・防災に対する広報活動を中心として活動を行い、大規模災害時には、避難者の避難支援や避難所の後方支援を行います。

10月3日、能美市防災センターで発足式が行われ、能美市消防団の浅田団長から女性分団員に辞令が手渡されました。その後、出席した分団員13名が、分団員全員で地域防災の発展に対する決意を力強く宣誓しました。



○消防団員募集中！

消防団員は、普段は仕事を持ちながらも、「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、災害発生時や訓練時には自宅もしくは職場等から出動して活動します。

あなたも消防団員として、まちの防災の担い手になりませんか。

能美市九谷焼美術館―職人工房― 新入居者に西野美香氏

九谷焼作家の西野美香さんが、九谷焼美術館「職人工房」に新たに入居しました。

これに先立ち、9月17日、西野さんが市役所を訪れ、入居を認める合格通知を井出市長から受け取りました。

職人工房の3人目の入居者となった西野さんは「作家人生の新たなスタートなので、気を引き締めて頑張りたい」と話し、井出市長

は「九谷焼のファンが増えるように未永く頑張っていたきたい」と激励しました。

西野さんは10月1日から職人工房で制作活動を開始しています。

職人工房では、どなたでも気軽に制作の様子を見学することができます。

開館時間 9時～17時
休館日 月曜日
入館料 無料

場所 泉台町南33番地
(九谷陶芸村内)



西野さん（左）と井出市長



西野さんの作品

地域の未来を守る会からご寄附

地域の未来を守る会から市へアルコール液（300ml）200本を寄贈いただきました。同会は、コロナ禍を受け、能美市、小松市、川北町の未来を守るため、公益社団法人小松青年会議所の有志が集まり発足した団体です。

9月16日、会を代表し6名の会員が能美市役所を訪れ、井出市長にアルコール液を渡しました。

本田祐介代表は「コロナ禍の中、何かできることはないかと考え、今回の寄贈に至りました。活用していただければ幸いです」と話し、井出市長は「アルコール液が入手しづらい中でお申し出いただき、大変ありがたく思います。あたたかいお気持ちを大切に受け止め、感染症と最前線で戦っている施設に使わせていただきます」とお礼を述べました。



地域の未来を守る会の皆さんと井出市長

能美市町会連合会が市政を学ぶ 合同研修会を開催

能美市町会連合会は、町会・町内会長の市政に対する理解を深めるため、合同研修会を開催しました。

10月7日、辰口福祉会館で研修が行われ、井出市長から市政報告として「市政の現状と今後の取り組み」を聞き、市政の状況に理解を深めました。その後、町会・町内会の意見交換を行いました。



井出市長の報告を聞く町会・町内会長ら

能美ライオンズクラブ会長らに感謝状 高画質プロジェクターを寄贈

加賀・小松・小松中央・小松青雲・能美ライオンズクラブの五団体の皆さまから、「明日へつなげよう We Service」のスローガンのもと、能美ふるさとミュージアムへ高画質プロジェクター一台を寄贈いただきました。

9月15日、辰口福祉会館で開催された合同例会

に出席した井出市長は、能美ライオンズクラブ今垣会長から目録を受納し、各団体会長への感謝状の贈呈を行いました。井出市長は、「能美ふるさとミュージアムでの講演会や講義等の学習機会、また能美市の魅力や博物館の見どころの発信に活用させていただきます」とお礼を述べました。



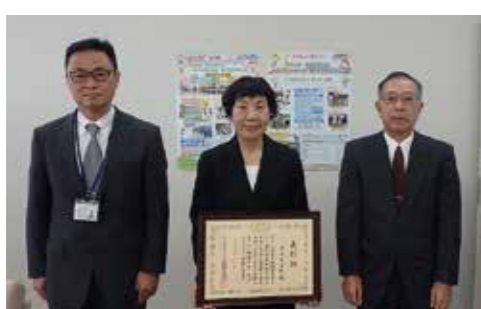
感謝状贈呈の様子

退任の人権擁護委員に表彰状

地域の人権擁護に多大な貢献をされてきた人権擁護委員の丸山喜美枝さん（大成町）が9月30日をもって退任されました。この在任中の功績に対し、石川県人権擁護委員連合会会長から表彰状が贈呈されました。

また、10月1日から人権擁護委員を務められる畑中茂伸さん（再任・仏大寺町）、福田攝子さん

（再任・岩本町）、山崎ちえみさん（新任・福岡町）の3名へ、金沢地方事務局小松支局長より委嘱状が伝達されました。3名の人権擁護委員の任期は令和2年10月1日から令和5年9月30日までとなり、在任期間中に人権侵害による被害者の救済や、地域への人権啓発活動を行います。



左から金沢地方事務局小松支局長石盛さん、丸山さん、小松人権擁護委員協議会会長元山さん



左から山崎さん、畑中さん、福田さん

根上中学校美術部員による 高速道路遮音壁の壁画が完成

根上中学校美術部が、高速道路の遮音壁に、幅12m高さ3.5mの壁画を制作しました。10年目の今年作品のテーマは「創り、故郷を大切に、壁画制作がこれからも続いていくようにという思いが込められています。」

この活動は、環境団体「能美のみどり『バイオマス』クラブ」、中日本高速道路のご支援のほか、「根上森林組合」「根上町内会」「はまなすの丘」にご協力をいただいております。地域とつながる活動となっています。



完成した壁画の前で記念撮影をしました。